

繊維・紙技術講演会 研究成果発表会のご案内.....

■ 日 時 : 令和8年9月29日 [火] 14:00~16:30(受付 13:30~)

■ 会 場 : 岐阜県産業技術総合センター 実験棟 A 2F A201 多目的ホール

〒501-3265 岐阜県関市小瀬 1288

■ 参加費等 : 無料、定員 50 名様、申込〆切 9 月 16 日 (水)

■ P R O G R A M ■ ■ ■ ■

■ 講 演 14:05~15:05

『素材本来の特性を正しく理解するための触感評価と最新技術』

講 師 カトーテック (株) 常務取締役 河 内 敬 氏

繊維や紙の触り心地は、わずかな素材の違いでも大きく変化します。人の感覚だけでは判断が難しいその差を、試験機で客観的に数値化してみませんか。 KES®風合い試験機は素材や製品の心地良さを評価するために開発され、現在では日本をはじめ世界 35 カ国で活用されています。本講演では、多様化する素材の触り心地を客観的に評価する KES®風合い試験機や最新技術 QUANTITEXTURE®、そして人による触り心地評価を一貫してサポートするアプリ TEXTUREVAL™ をご紹介します。

■ 研究成果発表 15:15~16:30

■ 「繊維端材のリサイクルによる資源循環型部材開発に関する研究

ー 端材を原料とした吸音材の開発ー

主任専門研究員 中島 孝康

構成繊維同士が熱で融着されてボード状になっている製品の端材について、分解片を挟んだ構造の不織布を試作し吸音性を検討しました。

■ 「繊維端材のリサイクルによる資源循環型部材開発に関する研究

ー 異種ポリマーブレンド物の溶融紡糸技術の開発ー

研究員 堀口 結以

異種熱可塑性樹脂が混在する繊維端材を対象に、溶融紡糸法による再生繊維化を検討し、ポリエステル樹脂と変性ポリエステル (低融点樹脂) の混合物から繊維を作製して力学物性を評価しました。

■ 「繊維製品の快適性に関する研究」

主任専門研究員 山内 寿美

ストレスフリーな衣服を目指し、同一デザイン・素材違いのブラウスを用いて衣服圧や衣服内の気候の測定、着用アンケート実施により快適性の評価を行いました。

■ 「重量物用パルプモールドの軽量化技術の開発」

主任専門研究員 浅野 良直

重量物の輸送用緩衝材として用いられるパルプモールドの原料に叩解したバージンパルプを補強材として添加して強度向上を図ることで、重量物用パルプモールドの軽量化について検討を行いました。

■ 「廃棄繊維を活用した抄紙技術の開発」

専門研究員 仙石 倫章

綿繊維を粉碎し、針葉樹パルプと混ぜて叩解を行いタッピ抄紙しました。引張、破裂、引裂き強度を測定し綿繊維の含有による力学特性への影響を評価しました。



■■■ 申込方法 二次元コード、下記メールアドレスまでお申し込みください。

岐阜県産業技術総合センター 繊維・紙業部 山内、仙石 seminar_fiber@gitec.rd.pref.gifu.jp

TEL 0575-29-7156(繊維・紙業部ダイヤルイン) / 0575-22-0147(代表)

* 参加希望の方はそれぞれお申込みください。

* 行事等の各種案内を送らせていただくことがあります

* 氏名等の個人情報について講師と主催者以外の第三者に提供することはありません。

<https://logoform.jp/form/T8mB/1065905>